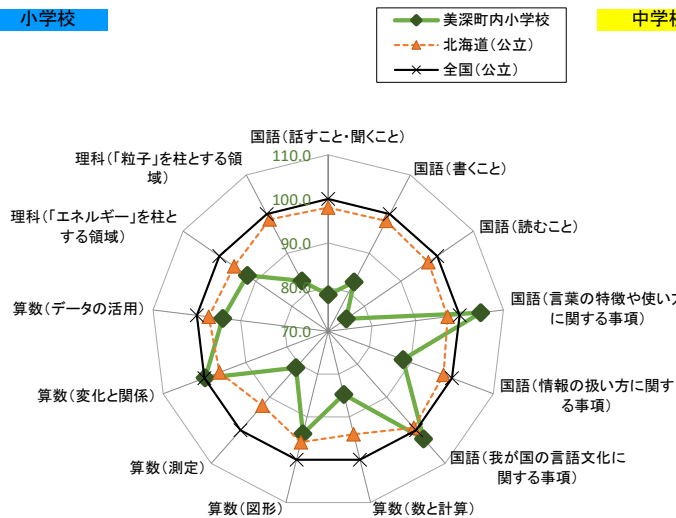


○ 教科に関する調査の状況

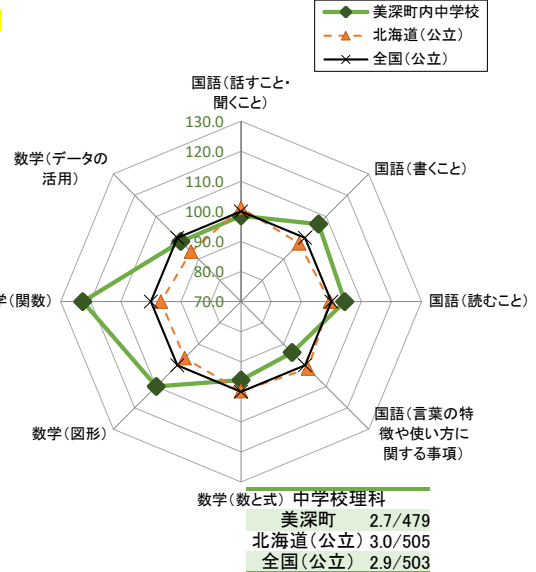
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



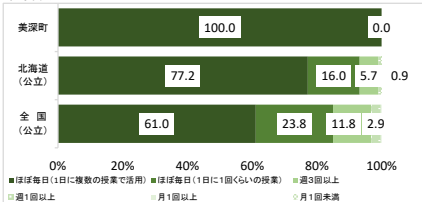
※中学校理科は共通問題6問の平均正答率/標準を500とするIRTスコア

○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

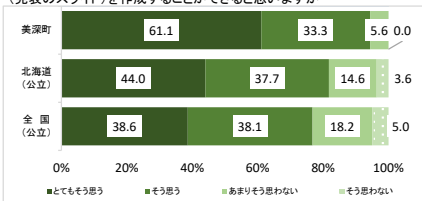
児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



中学校

<児童質問>

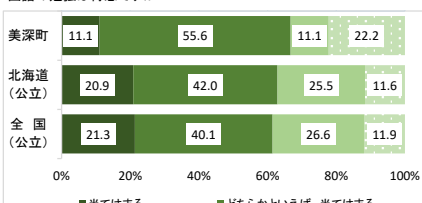
自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか



小学校

<児童生徒質問>

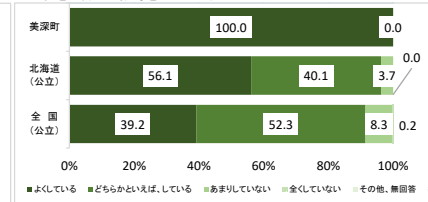
国語の勉強は得意ですか



中学校

<学校質問>

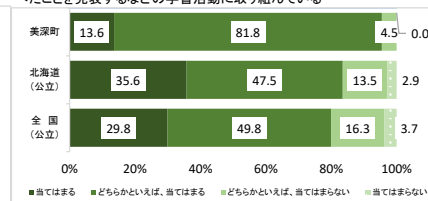
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探求の過程を意識した指導をしていますか



中学校

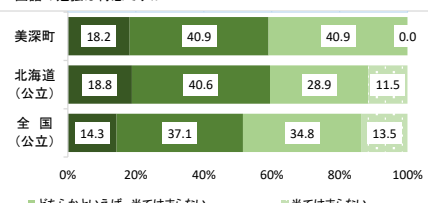
<生徒質問>

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる



中学校

国語の勉強は得意ですか



○ 調査結果の分析

- ・小学校において、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことで、児童のICT機器対応力が高まり学校のプレゼンテーションを作成することができると回答した割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・中学校の総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探求の過程を意識した指導を行ったことにより、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・小学校国語の平均正答率は全国及び全道を下回っており、中学校については上回っている状況は、小学生の国語の勉強は得意ですかの問いにに対し得意ではないの割合が全国及び全道を上回っているのに対し、中学生については得意ではないと回答した生徒が0ポイントとなっている事が、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・個に応じた指導の充実や漢字検定、英語検定を活用した、児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ・1人1台端末を効果的に活用した学習の推進
- ・学校運営協議会や保護者と課題を共有した教育活動の推進